

最後の挨拶は「心から愛する日本の皆さんによりしく」とのことだった。サハリンへのビザなしツアー第1回目ということもあってか、2時間近くを要した出国手続きにも最後まで付き合い、終始誠実な人柄の感ぜられるガイド振りであった。

遠く遥かな道

帰りは朝7時半（日本時間9時半）にホテルを出発し、バス（コルサクコフへ）→出国手続き→フェリー（稚内へ）→バス（札幌へ）と往路を逆に辿り、市内バスセンター到着は午後10時15分であった。

今でさえ札幌まで13時間にも及ぶこの同じ長い道のりを、敗戦翌日からの暑い夏の日中、父親を残し家族一同すきっ腹をかかえながら、船底の部屋と無蓋の貨車に詰め込まれ、用便もままならず、本州は東北まで引き揚げたとは、もうよく覚えていないと本人は言うが、なんと大変な旅であったことだろう。日本人の引き揚げた旧豊原から現ユジノサハリ

ンスクへ年月も流れて66年、わずかの建物が残されたとはいえ、町並みはかつての姿を留めない。日本人の生活したその跡に、今はロシア人の平和な生活がある。

積年の思いを果たした今の妻の気持ちを推し量る。「遥かなり かの豊原は 夢のなか」。

一方で、北海道に住むわれわれに切実な北方四島の問題が残されていることを思う。これらの島々にもそこに生まれ育った66年のロシア人の生活があり、これは取りも直さず高齢となった島々からの引揚者とその家族にとっては帰還への当然の権利が奪われた望郷の日々でもある。もはや放置は許されないのではないか。

参考文献

- 1) 井濶 裕、角 幸博：ユジノサハリンスクにおける日本期歴史建造物調査、日本建築学会計画系論文集、第571号、2003年9月

電子メールによる会員への情報提供について

—メールアドレスの登録—

◇情報広報部◇

本会では、インターネットを利用し、電子メールにより緊急性の高い情報を、会員の皆様へ送信提供しております。対象は当会の電子メールアドレス利用者全員と他プロバイダの電子メールアドレスをお持ちになっていて、本会にアドレスを登録している会員です。

他プロバイダの電子メールアドレスの登録につきましては、随時受け付けておりますので、是非ご登録いただきたくご案内いたします。

●電子メールアドレスの登録方法

電子メールで、ご氏名、登録メールアドレスを明記のうえ、下記宛お送りください。

・申込先メールアドレス：add@m.doui.jp